



せん。また、行財政改革も進み、一応の成果を上げることができましたが、今一度、地域と共に歩む総合支所、そして市民の皆様により満足いただける市役所経営について考え直さなければならぬという強い思いを抱いています。

4月から津市総合計画後期基本計画がスタートし、いよいよ合併後10年間のまちづくりの集大成に向け、本市のまちづくりの新たなステージが幕を開けます。

これから合併後8年目となる重要な1年間の市政を運営するに当たって、私の原点である「郷土津市のために尽くす」という初心に立ち返り、あらためて市民主導の市政推進に向け邁進していくという強い意志から、「対話する市政」「前進する市政」「決断する市政」の3つの決意を掲げました。

対話する市政

対話する市政とは、対話する機会を単に創出す

るだけではなく、頂いたご意見やご要望を聞きっぱなしにせず、すぐに「できるもの」と「できないもの」に整



市政懇談会の様子

理し、その答えをお返りする。そして、「できるもの」については、迅速かつ確実に実行に移す。この即答・即応し、実現していく姿が、私が掲げる対話する市政です。

市民との対話により創出・展開してきた施策

- 津波避難ビル・津波避難協力ビルの制度創設
- フランスやスイスの機関と津市の中小企業とのマッチング支援
- オープンディスカッションなど新たな対話の機会の創出や手法の展開
- 職員提案による市民からの要望等に対する即答・即応のルールづくり



中心市街地活性化オープンディスカッションの様子

実現する市役所づくりに向けた施策

- 地域インフラ維持・補修事業を創設し、道路の路面復旧や草刈りなど、地域を支える重要な生活基盤の補修等を迅速に行うための予算や人員を含めた総合支所の体制整備

地域インフラ維持・補修事業に係る予算と人員

	平成24年度まで	平成25年度
総合支所長の権限	簡易補修のみ	全般
予算	各総合支所 50万円	1億5,600万円 〔地域インフラ維持事業 1億3,600万円 地域インフラ補修事業 各総合支所等200万円〕
人員	18人 (各総合支所2人)	40人 〔各総合支所4人 各工事事務所2人〕

- 地域に密着した案件の総合調整を図るための市長・副市長・各総合支所長・担当部長が協議する地域政策会議の設置